

女性に対する暴力をなくす運動  
(パープルリボンキャンペーン11/12~25)



令和4年度 男女間における暴力の防止と被害者支援事業

# 「ちょっと困っている」への 気づきから孤立を防ぐ

～傷つきからの回復を支援する家と逃げ場所の試み～



コロナ禍が長引く中、暴力についての女性からの相談件数は増加しています。公的機関にも逃げ込める場所はありませんが条件や規則が厳しく、「ちょっと困っている」状態を我慢し続け、孤立してしまう方もいるのが現状です。

白河市で女性のためのセーフティシェアハウスを運営する鴻巣さんのお話から、自分自身あるいは誰かの「ちょっと困っている」に気づく目線を手に入れませんか？

日時

11月12日(土) 13:00~14:30

講師

鴻巣 麻里香 さん

(非営利団体KAKECOMI代表、精神保健福祉士、  
福島県スクールソーシャルワーカー)

参加費

無料

定員

50名(申込先着順)

会場

Zoomによるオンライン開催

※センターでの受講を希望する方は、ご相談ください。

対象者

関心のある方ならどなたでも

申込方法

右下のQRコードを読み取り、専用の申込フォームより  
お申込みください。

※受講についてのお知らせを事前に必ずお送りいたしますので、  
届かない場合にはご連絡ください。

締切 11月8日(火)



## オンライン講演会

### 「『ちょっと困っている』への気づきから孤立を防ぐ

### ～傷つきからの回復を支援する家と逃げ場所の試み～」

新型コロナウイルス感染の状況によっては、開催を延期又は中止する場合があります。  
開催を延期又は中止する場合には当センターのホームページでお知らせいたします。

■参加申込にあたって記入していただく個人情報、参加者の決定／参加者への連絡・通知／参加者名簿の作成／福島県男女共生センターの講座・イベント等についての情報提供以外で使用することはありません。

#### 講師紹介

**鴻巣 麻里香 氏**（非営利団体KAKECOMI代表、精神保健福祉士、福島県スクールソーシャルワーカー）

1979年生。こども時代母親が外国籍であることを理由にいじめにあい、自分の価値や生きる目的が見いだせないままなんとなく大学院まで進学する。一橋大学大学院社会学研究科在籍中に北関東の山あいにある精神科病院関連施設でボランティアに従事。その経験を機に多様性と弱さを受け入れる地域社会づくりを目指し、精神科医療機関等で約10年に亘り地域に暮らす心の病・悩みを抱えた人の心と生活のサポートを行っている。

東日本大震災後は『ふくしま心のケアセンター』に在籍し被災者・避難者の心のケアを行う他、自治体や公共機関で市民を対象とした心の相談を実施。セルフケアやメンタルヘルス、コミュニティケア等のワークショップや講演を多数行う2014年12月に脳腫瘍除去の大手術を行い、完治を機に離職。

より地域に根ざした活動を志し、フリーランスのソーシャルワーカーとなりKAKECOMIを立ち上げる。現在は誰も孤立しないための居場所づくり(たべまな)の他、スクールソーシャルワーカーとして貧困や虐待、いじめなどに苦しむ子どもと家族の支援を行なっている。

2019年9月ミネルヴァ書房より『ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう』刊行(共編著)。

講演・発表実績：日本アルコール関連問題学会、日本家族療法学会、自殺対策ゲートキーパー養成講座、教職員向け研修、学校等のPTA研修、医療機関職員向け研修、中日新聞懇話会、ライオンズクラブ・ロータリークラブ、中日新聞懇話会、中京テレビ等。

執筆実績：季刊Be!、こころの科学、世界、福島民報等。

料理の腕前には定評のあるアマチュア・シェフ。

#### 申込方法

・右側のQRコードを読み取るか、当センターHPから本講演会のページにアクセスし、専用の申込フォームよりお申込みください。



#### 参加をご希望の方へ

- ・講演会開催前日までに、視聴用のアドレスを記載したメールをお送りします。
- ・Wi-Fi環境での参加を推奨いたします。携帯電話回線をご利用の場合は、事前に容量確認(速度制限がかかっていないか)を行ってください。
- ・通信料は参加者負担となりますので、ご了承ください。
- ・録画録音、動画URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報公開は固く禁止させていただきます。発見した場合は直ちにご退場いただきます。

#### お問い合わせ

福島県男女共生センター 〒105-0014 福島県二本松市郭内1丁目196-1  
TEL:0243-23-8304 URL: <https://www.f-miraikan.or.jp>